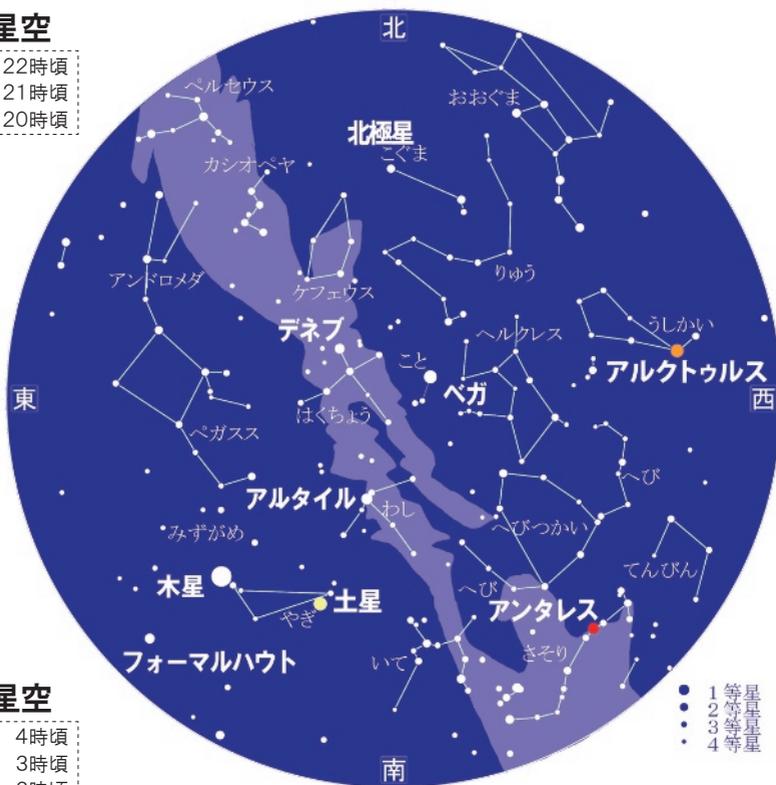


星空ガイド 8月16日～9月15日

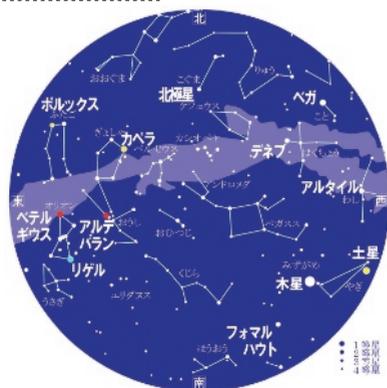
よいの星空

8月16日22時頃
9月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

8月16日 4時頃
9月1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
8	16	月	5:19	18:45	13:12	23:31	7.5
	21	土	5:22	18:39	18:14	3:26	12.5
	26	木	5:26	18:32	20:50	8:47	17.5
9	1	水	5:30	18:24	—	14:31	23.5
	6	月	5:34	18:18	4:18	18:10	28.5
	11	土	5:37	18:10	9:54	20:50	4.1
	15	水	5:40	18:05	14:27	—	8.1

※惑星は2021年9月1日の位置です。

夕方に金星が見ごろ

夕方の西空には金星が宵の明星として見えています。今年3月24日の外合以降、宵の西空で輝いていて、12月なかごろまで楽しむことができます。ただ、今シーズンはあまり高くには見え、8月後半から9月前半での日没30分後の地平高度は15~20度程度にしかありません。ですので、西の空がよく見通

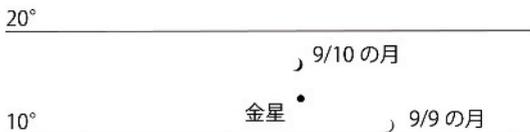


図:9月10日の月と金星 (日没後30分)

せる場所で観望するようにしてください。明るさはマイナス4等と非常に明るく、夕方の薄明かりの中でも見る事が可能です。

9月10日の夕方には、月齢3の細い月と金星が並んで見えます(図)。夕方の明るさが残る中で輝く月と金星は、写真撮影にもおすすめです。

木星と土星が見ごろ

木星と土星は、やぎ座に位置していて、見ごろになってきました。夕方、太陽が沈んだ頃に南東の空に見え、南中時刻は木星が23時前後、土星が22時前後となっています。特に、木星は8月20日が衝になり、この時期はほぼ一晩中見えますので、観望の好機です。

その他、8月22日と23日には、木星の4つのガリレオ衛星の中の一つが、他の衛星の影に入る「食」や、背後に隠される「掩蔽」が起きます。これは望遠鏡を使わないと見ることができない現象です。詳しい情報は、天文雑誌やインターネットなどで紹介されていますので、望遠鏡をお持ちの方はチャレンジしてはいかがでしょうか。

嘉数 次人(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
8	16	月	●上弦(0時)
	17	火	月が最近(369,100km)
	20	金	木星が衝
	21	土	月と土星がならぶ
	22	日	○満月(21時) 月と木星がならぶ
	23	月	処暑(太陽黄経150°)
	30	月	●下弦(16時) 月が最遠(404,100km)

月	日	曜	主な天文現象など
9	5	日	金星とスピカが近づく
	7	火	●新月(10時) 白露(太陽黄経165°)
	8	水	夕方の低空で月と水星がならぶ
	10	金	夕方に月と金星がならぶ
	11	土	月が最近(368,500km)
	14	火	●上弦(6時) 水星が東方最大離角 海王星が衝